

令和 6 年度

富山県公共事業再評価事業

重点審査対象分 資料

令和 6 年 7 月 2 9 日

富山県

令和6年度富山県公共事業再評価調査

整理番号	事業名			路線名・河川名等			事業箇所		
4	踏切道改良補助			一般県道 ハツチョウ ダイモン 八町大門線			イミズ コジマ 射水市小島		
着手	完了	経過年数	残事業年数	再評価区分	総事業費 (百万円)	前年度まで 事業費 (百万円)	R6 事業費 (百万円)	残事業費 (百万円)	進捗率
R2	R11 (R4)	5年	5年	再	512 (260)	59	59	394	23.0%
全体計画									
歩道設置 延長 145m 幅員 10.5m									

事業費の単位は百万円、下段()書きは事業着手時又は前回再評価時の数値である

事業概要の説明

・本路線は、越中大門駅の利用者や、大島小学校、大門中学校の通学路として利用される幹線道路である。
 ・当該事業箇所は、あいの風とやま鉄道線及びJR貨物専用線が交差する踏切道であるが、踏切道部に歩道が設置されておらず、車両と歩行者の輻輳により、安全なすれ違いが困難な状況にある。近隣の大島小学校や大門中学校の通学路として利用されており、児童や地域住民にとって危険な状況になっている。このため、歩道設置により、歩行者の安全と円滑な通行の確保を図る。
 ・H29.1に踏切道改良促進法による改良すべき踏切道として指定。(R4.12新法による指定)

評価の視点と自己評価内容

1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
射水市人口	人	90,628 (R2.4)	89,014 (R6.4)	約1.8%減少 (△1,614)
交通量 (一般県道八町大門線 鏡宮南交差点～大門大橋) ※道路交通センサス	台/日	2,109 (H27)	2,292 (R3)	約8.7%増加 (+183)
大島小学校 児童数 ※【】内は踏切通過児童数	人	640 (R2)	604 (R6) 【約80】	約5.6%減少 (△36)
大門中学校 生徒数 ※【】内は踏切通過生徒数	人	788 (R2)	683 (R6) 【約90】	約13.3%減少 (△105)

自己評価内容

・射水市の人口や事業区間付近の学校児童(生徒)数は減少しているが、現在でも、約170人の児童・生徒が通学路として、本踏切を利用している。また、自動車交通量は増加しており、歩行者にとって危険な状況であることに変わりはなく、安全で円滑な通行を確保する上で、本事業の事業効果は高い。

評価結果
事業継続が妥当

2. 事業の投資効果

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考

数値化が困難な事業効果

・本事業箇所では、過去10年で2件の交通事故が発生しているが、歩道設置することにより、車両と歩行者の輻輳が解消され、安全性が向上するとともに、交通事故の抑止に繋がる。

自己評価内容

・事業効果の数値化は困難であるが、当該路線の自動車交通量は増加しており、歩行者にとって危険な状況であることに変わりないため、安全で円滑な通行を確保する上で、本事業の事業効果は高い。

評価結果
事業継続が妥当

3. 事業の進捗状況、見込								
全体計画			令和6年度まで整備済		未整備内容		令和6年度までの進捗率(%)	
主な工種(単位)	数量	事業費(百万円)	数量	事業費(百万円)	数量	事業費(百万円)	事業量ベース	事業費ベース
踏切拡幅(m)	25	380	0	0	25	380	0.0%	0.0%
歩道整備(踏切部除く)(m)	120	126	60	113	60	13	50.0%	89.7%
用地買収(m ²)	160	6	125	5	35	1	78.1%	83.3%
合計		512		118		394		23.0%
残事業内容および今後の整備見込 ・残事業の工種(事業費)は、踏切拡幅 25m(380百万円)、歩道整備(踏切北側、拡幅) 60m(11百万円)。 ※踏切南側は歩道新設 60m(一部張出歩道形式で整備)。踏切北側は既設歩道の拡幅。 ※歩道整備(新設、拡幅)区間は、用地買収済。 ・踏切北側の歩道整備は、令和7年度実施予定。 ・令和8年度以降、踏切部の用地買収及び踏切工事に着手できるよう、あいの風とやま鉄道等と協議を進め、早期の事業効果発現に取り組む。 ・事業費について、工事における労務資材単価等の上昇により増額し、鉄道事業者等との調整に伴い事業期間を延長。								
自己評価内容								評価結果
・周辺関係者の協力を得て、用地補償は順調に進んでいる。 ・前後道路の改良工事は、事業実施に障害も少なく、実施に向け順調に進捗している。								事業継続が妥当
4. 今後のコスト縮減や代替案立案等の可能性(工法、計画の見直し等含む)								
自己評価内容								評価結果
・鉄道事業者との計画協議も完了済みであり、また、用地買収についても踏切道部以外は完了しているため、現段階において、代替案の立案は困難である。								事業継続が妥当

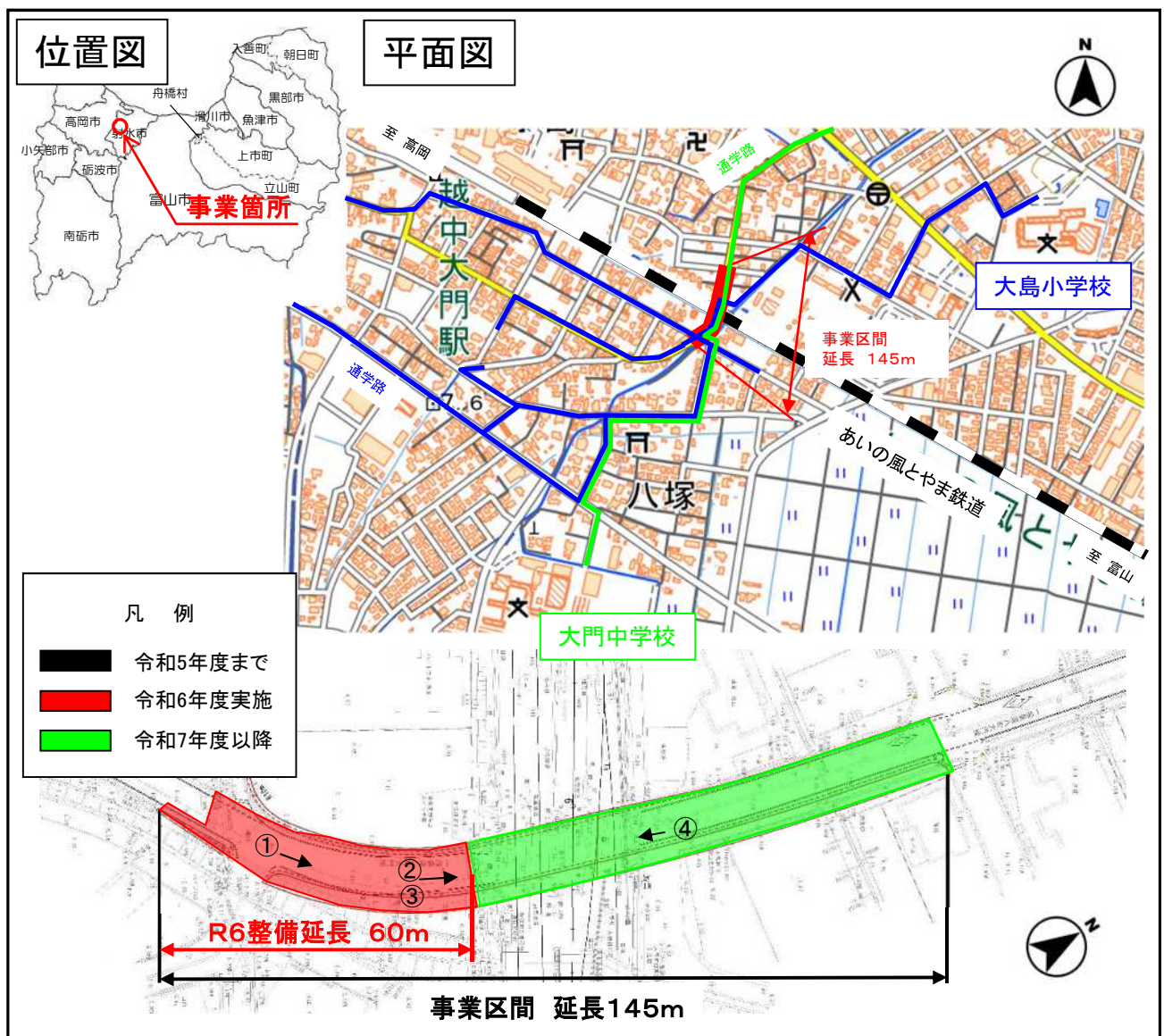
その他の視点

5. 関係機関との調整状況、他事業との関連など
・あいの風とやま鉄道(株)及び日本貨物鉄道(株)とR4年度に計画協議を完了しており、現在は踏切道部の工事に向け、順調に進捗している。
6. 事業の緊急性(適時性)および事業を見直した場合に想定される影響
・歩行者の安全で円滑な通行の確保ができない。 ・改良すべき踏切道として法指定されているため、対策が必要である。

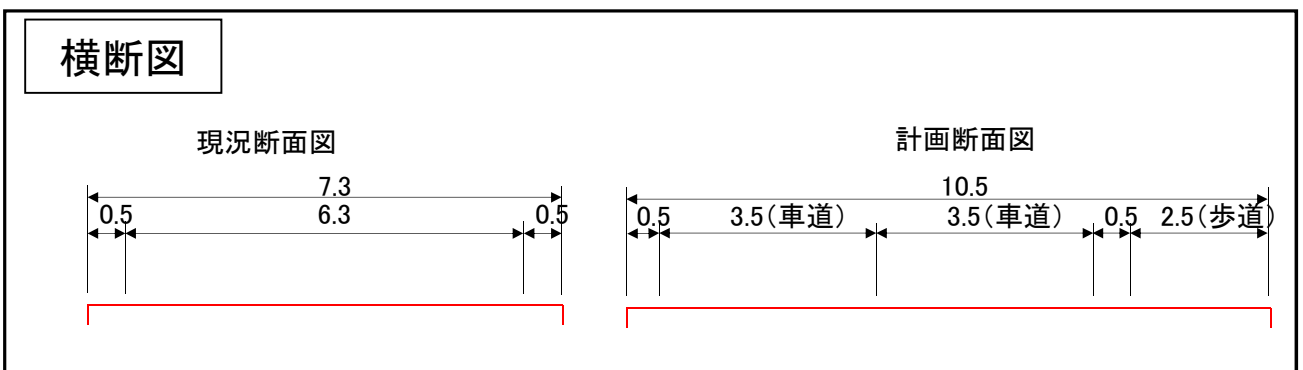
自己評価内容の総括

対応方針(案)	対応方針(案)の説明
継続	・現在でも多くの児童、生徒が通学路として利用しており、安全で円滑な通行を確保する上で、本事業の事業効果は高い。 ・用地買収はほぼ完了しており、工事実施に向け支障もなく順調に進捗している。 ・鉄道事業者との計画協議が完了しており、踏切工事実施に向け順調に進捗しているため事業継続が必要。

4 踏切道改良補助 一般県道 八町大門線(射水市小島)



主な工種 (全体事業量)	事業区間 延長 145m	R6までの進捗率	
		事業量 ベース	事業費 ベース
用地買収 (160㎡)		78%	83%
歩道設置 (145m)		0%	0%



整備前の状況



車両と歩行者の輻輳により、安全なすれ違いが困難



整備前状況

現況写真(整備後の状況)

令和6年度富山県公共事業再評価調査

整理番号	事業名			路線名・河川名等			事業箇所		
5	道路総合交付金			ウオツイクジニウゼン 主要地方道魚津生地入善線			ヒガシマチ 魚津市 東 町 ～ 黒部市 イシダ 石 田		
着手	完了	経過年数	残事業年数	再評価区分	総事業費 (百万円)	前年度まで 事業費 (百万円)	R6 事業費 (百万円)	残事業費 (百万円)	進捗率
R2	R16	5	10	再	4,200 (3,500)	446	335	3,419	18.6%
全体計画									
道路改良(バイパス) 延長1,000m、幅員12.0m									

事業費の単位は百万円、下段()書きは事業着手時又は前回再評価時の数値である

事業概要の説明

・主要地方道魚津生地入善線は、魚津市から黒部市を經由して入善町に至る重要な幹線道路であり、また「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟が認められた富山湾沿いに位置する湾岸道路としても重要な道路である。

・本区間の現道は、幅員が狭く人家が連担し、歩道も整備されていないことから、安全で円滑な交通が確保されていない状況である。

・本バイパスの整備により、魚津市、黒部市間の道路ネットワークの強化及び富山湾沿岸部の観光拠点の連携が図られ、新川地域の活性化に大きく寄与するとともに、現道交通が湾岸道路に転換されることで沿道地域の交通安全の向上が期待できる。

評価の視点と自己評価内容

1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
魚津市人口	人	40,495 (R2.10県統計)	38,322 (R6.4県統計)	約5.4%減少 (△ 2,173)
黒部市人口	人	39,544 (R2.10県統計)	38,382 (R6.4県統計)	約2.9%減少 (△ 1,162)
交通量 (落合橋付近)	台/日	11,445 (H27センサス)	8,833 (R3センサス)	約22.8%減少 (△ 2,612)

自己評価内容

・事業着手時に比べ、魚津市、黒部市の人口及び落合橋(現道区間)の交通量は減少している。

・「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟が認められた富山湾沿いに位置する湾岸道路として、観光面から重要性は高い。

評価結果

事業継続が妥当

2. 事業の投資効果

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
費用便益(B/C)	—	1.2 (R1算出)	1.1 (R6算出)	

数値化が困難な事業効果

・富山湾沿岸部の観光拠点の連携強化による地域の活性化。

・魚津市、黒部市間のアクセス向上による、新川地域の経済活動の促進、雇用創出の拡大。

・災害時における救急車両の通行や救援物資の輸送等、国道8号などを補完する機能。

自己評価内容

・橋梁工における資材単価等の上昇や、軟弱地盤対策として道路土工区間の構造を変更したことから、費用便益比が1.1と、事業着手時と比較して減少している。

・本路線は魚津市から黒部市を經由して入善町に至る重要な幹線道路であり、新川地域の経済活動を促進する上で、本事業の投資効果は高い。

評価結果

事業継続が妥当

3. 事業の進捗状況、見込								
全体計画			令和6年度まで整備済		未整備内容		令和6年度までの進捗率(%)	
主な工種(単位)	数量	事業費(百万円)	数量	事業費(百万円)	数量	事業費(百万円)	事業量ベース	事業費ベース
改良・舗装工(m)	787	969	0	73	787	896	0.0%	7.5%
橋梁工(m)	213	2,043	0	154	213	1,889	0.0%	7.5%
用地補償(式)	1	1,188	-	554	-	634	-	46.6%
合計		4,200		781		3,419		18.6%
残事業内容および今後の整備見込								
・残事業の工種(事業費)は、改良・舗装工 787m(896百万円)、橋梁工 213m(1,889百万円)、用地補償(634百万円)。 ・今後、用地補償を順次進め、工事に着手する。 ・事業費について、地質調査の結果、地盤が当初の想定以上に悪かったため、道路改良区間を盛土構造に変更したことにより増額。								
自己評価内容								評価結果
・地元の要望が強く、魚津市側は概ね同意を得ており、順次補償手続きを行う段階にある。黒部市側は、黒部市パークゴルフ場の移設補償のみであり、所有者である黒部市と調整が完了しており、順次補償を行っている。 ・事業は順調に進捗しており、引き続き用地補償を進めるとともに、来年度以降は工事に着手できる状態ある。								事業継続が妥当
4. 今後のコスト縮減や代替案立案等の可能性(工法、計画の見直し等含む)								
自己評価内容								評価結果
・道路盛土の盛土材について、現場近傍の仮置土を使用することによりコスト縮減を図る。(約0.1億円のコスト縮減) ・事業実施における支障はなく、代替案の立案は困難。								事業継続が妥当

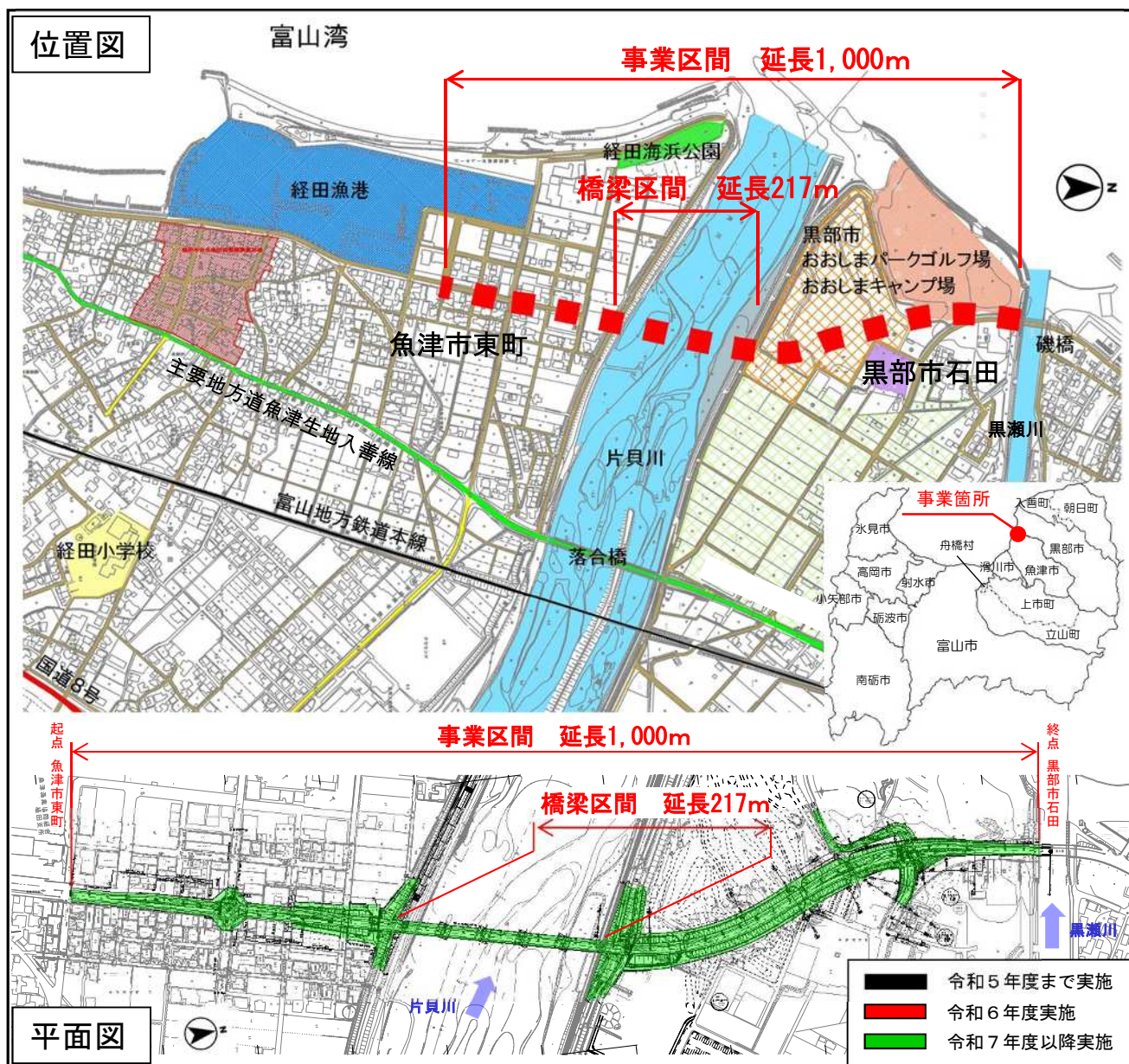
その他の視点

5. 関係機関との調整状況、他事業との関連など	
・片貝川長大橋建設促進協議会や魚津市、黒部市から早期完成の要望を受けている。	
6. 事業の緊急性(適時性)および事業を見直した場合に想定される影響	
・幅員狭小部や歩道の未整備箇所の多い現道区間において、交通が湾岸道路(バイパス)に転換されず、沿道地域の安全で円滑な道路交通が確保できない。	

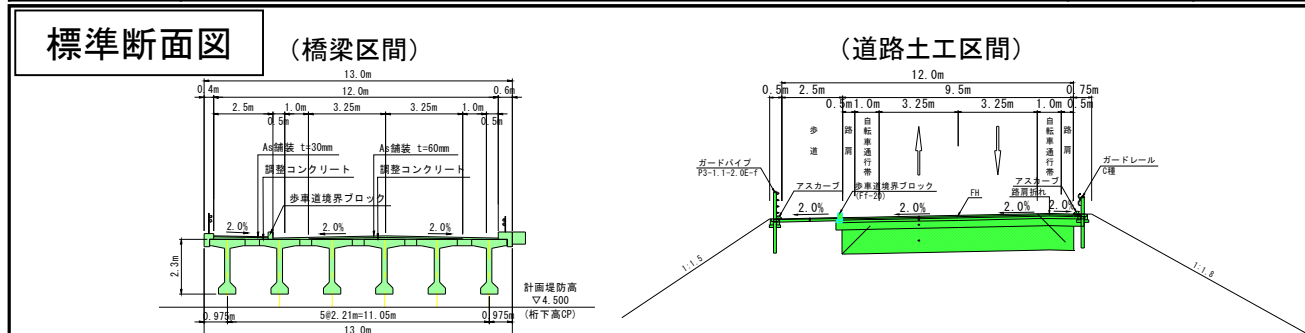
自己評価内容の総括

対応方針(案)	対応方針(案)の説明
継続	・魚津市と黒部市の人口は減少しているが、魚津市、黒部市間の道路ネットワークの強化及び富山湾沿岸部の観光拠点の連携、さらに、沿道地域の安全で円滑な道路交通を確保する上で事業効果は高い。 ・費用便益比は事業着手時と同様に1.0を上回っており、事業効果が期待できる。 ・コスト縮減に努めながら事業進捗を図り、早期事業効果発現を目指す。 ・地元からの要望も強く、用地買収も順調に進捗しており、事業の支障となるものはなく、事業継続が必要。

5 道路総合交付金 主要地方道魚津生地入善線 (魚津市東町～黒部市石田)



主な工種 (全体事業量)	事業区間 延長 1,000m		R6までの進捗率	
	起点	終点	事業量 ベース	事業費 ベース
改良・舗装(787m)			0%	7.5%
橋梁工(217m)			0%	7.5%
用地補償(1式)			46.6%	46.6%



整備前の状況

人家が連坦し、近隣に小学校や高校があるものの、歩道が整備されていない

①



現道状況 魚津市経田

②



現道状況 黒部市石田

③



魚津市東町

④



黒部市石田

⑤



航空写真

令和6年度富山県公共事業再評価調査

整理番号	事業名			路線名・河川名等			事業箇所		
9	交通安全補助			シヨウチホウドウ ヒミシウリョウシオセン 主要地方道 氷見惣領志雄線			ヒミシ フセ イクボ 氷見市布施～飯久保		
着手	完了	経過年数	残事業年数	再評価区分	総事業費 (百万円)	前年度まで 事業費 (百万円)	R6 事業費 (百万円)	残事業費 (百万円)	進捗率
R2	R12	5年	6年	再	584 (370)	157	10	417	28.6%
全体計画									
道路改良 延長 L=740m 幅員 W=11.5m(片側歩道)									

事業費の単位は百万円、下段()書きは事業着手時又は前回再評価時の数値である

事業概要の説明

・本路線は、氷見市南部と氷見市中心部を結ぶ重要な幹線道路である。本区間の現道は、幅員が狭く人家が連担し、歩道もないことから、大型車のすれ違いが困難であり、自転車・歩行者と車が交錯し、危険な状態となっている。

・本バイパスの整備により、氷見南ICや氷見駅などの交通拠点へのアクセス向上が図られることで、観光拠点施設へのアクセス性が向上し、観光振興に寄与するとともに地域の安全で円滑な交通の確保を図る。

評価の視点と自己評価内容

1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
氷見市人口 ※氷見市HP	人	46,420 (R2.4)	42,866 (R6.4)	7.7%減少 (△3,554)
湖南小学校生徒数 ※氷見市HP	人	165 (R2.5)	154 (R6.5)	6.7%減少 (△11)
十三中学校生徒数 ※氷見市HP	人	87 (R2.5)	74 (R6.5)	14.9%減少 (△13)
氷見市観光客平均入込数 ※氷見市HP	人	1,266,816 (R2)	1,900,731 (R4)	33.4%増加 (+633,915)
氷見南IC利用数 ※国土交通省より	台/月	26,486 (R2)	32,657 (R4)	18.9%増加 (+6,171)
交通量 ※道路交通センサス	台/日	1882 (H27)	2,056 (R3)	9.2%増加 (+174)

自己評価内容

氷見市への観光客が増加していることで、氷見南ICの利用数も増加しており、当該路線の利用者が増加しているため、事業の継続が必要。

評価結果

事業の
継続が
妥当

2. 事業の投資効果

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
費用便益(B/C)	-	-	1.7	事業着手時未算出

数値化が困難な事業効果

・氷見南ICのアクセス向上による、氷見地域の経済活動の促進。

・災害時の氷見ICと高岡北IC間の緊急車両の通行や救援物資の輸送等、氷見スーパー農道等を補完する機能。

自己評価内容

・今回評価を行い、本事業の費用便益が1.7となった。

・現道は通学路になっているため、歩行者の安全の確保を図ることが重要な路線であり、また、氷見南ICや氷見駅など、の交通拠点へのアクセス向上も図られることから、本事業の投資効果は高い。

評価結果

事業の
継続が
妥当

3. 事業の進捗状況、見込								
全体計画			令和6年度まで整備済		未整備内容		令和6年度までの進捗率 (%)	
主な工種(単位)	数量	事業費 (百万円)	数量	事業費 (百万円)	数量	事業費 (百万円)	事業量ベース	事業費ベース
道路改良工(m)	740	563	0	151	740	412	0.0%	26.8%
用地補償(式)	1	21	—	15	—	6	—	71.4%
合計		584		166		418		28.4%
残事業内容および今後の整備見込 ・残事業の工種(事業費)は、道路改良工740m(412百万円)、用地補償(6百万円)。 ・今後、余盛りによる沈下(1年程度)が完了次第、パイプラインの移設及び道路改良を進める。 ・事業費について、地質調査の結果、地盤改良工を追加したことにより増額。								
自己評価内容								評価結果
・現在まで用地補償はおおむね順調に進んでいる。 ・引き続き用地補償を進める。 ・事業は順調に進捗している。								事業の 継続が 妥当
4. 今後のコスト縮減や代替案立案等の可能性(工法、計画の見直し等含む)								
自己評価内容								評価結果
載荷盛土で使用する土砂を本事業または他事業で活用することで、コストの縮減を行う。 (約3000万円のコスト縮減)								事業の 継続が 妥当

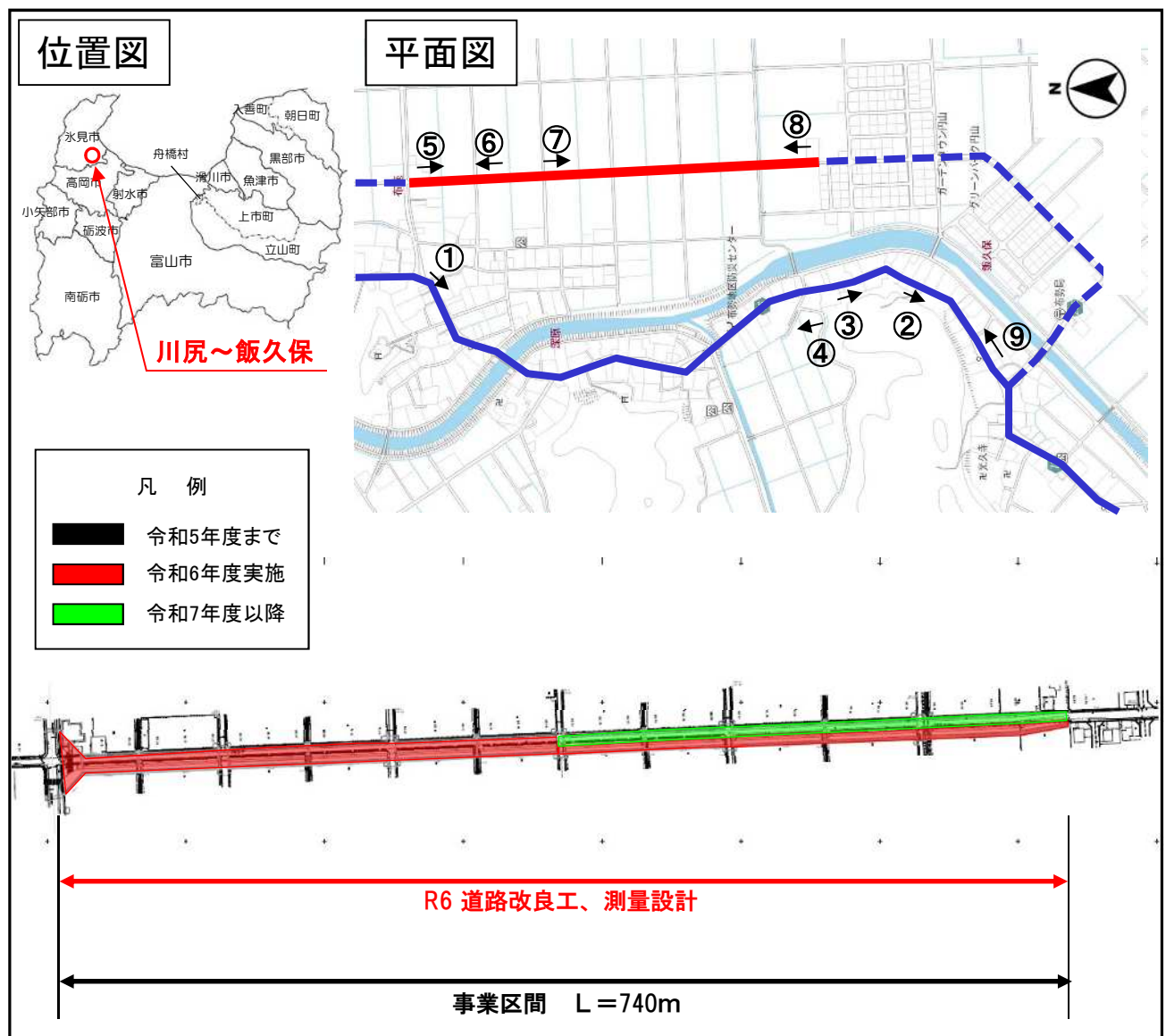
その他の視点

5. 関係機関との調整状況、他事業との関連など
・氷見南インターの開通を受け、氷見南インターアクセス道路建設促進期成同盟会から、氷見南インターと国道160号を結ぶ新たな道路の整備促進の要望を受けている。
6. 事業の緊急性(適時性)および事業を見直した場合に想定される影響
・通学路となっている現道の幅員狭小部や歩道の未整備が解消されず、地域の安全で円滑な道路交通が確保できない。

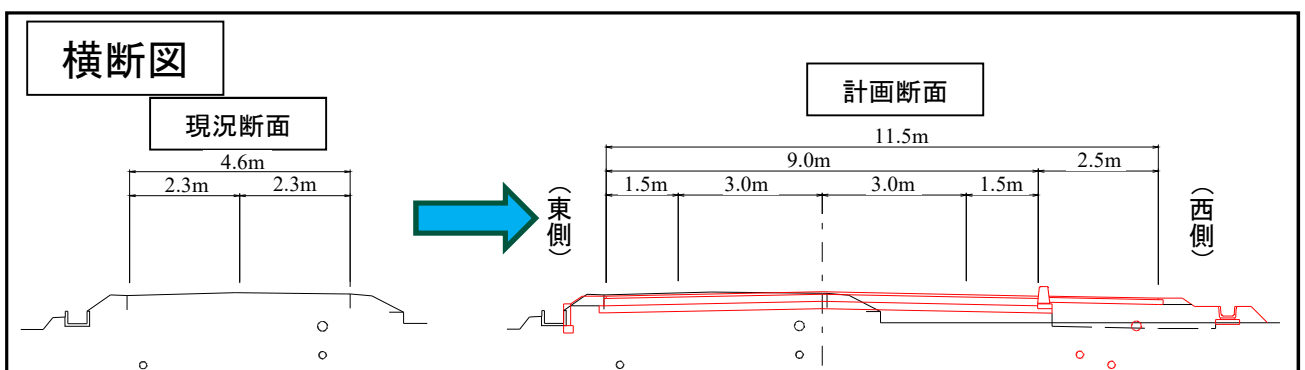
自己評価内容の総括

対応方針(案)	対応方針(案)の説明
継続	・現道が狭く、かつ、歩道がない区間のため、歩行者と車両が交錯する危険な状況であるため、歩行者や自転車の安全確保が必要。 ・能越自動車道氷見南ICへアクセスし、広域的な経済産業活動や観光交流を促進する重要な道路であり、事業効果は大きい。 ・地元の要望も強い。

9 交通安全補助 氷見惣領志雄線(氷見市布施～飯久保)



主な工種 (全体事業量)	事業区間 L = 740m	R6までの進捗率	
		事業量 ベース	事業費 ベース
用地補償 (5,219㎡)		70.6%	71.4%
道路改良工 (740m)		20.0%	26.8%



整備前の状況



事業区間現況

